

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●古川吉洋騎手がJRA通算400勝を達成

1月5日(木)の1回京都1日・第2レースではティエムシェロキーが1着となり、同馬に騎乗した古川吉洋騎手(栗東・フリー)は、現役39人目となるJRA通算400勝(7646戦目)を達成しました。

### ●メジャーエンブレム、ラブリーデイらの競走馬登録抹消

2015・2016年名古屋グランプリ(JpnⅡ)などの勝ち馬アムールブリエ(牝6歳/栗東・松永幹夫厩舎/JRA通算12戦4勝・地方13戦6勝)、2014年新潟記念(GⅢ)などの勝ち馬マーティンボロ(牡8歳/栗東・友道康夫厩舎/JRA通算28戦7勝)、2015年北海道新聞杯クイーンS(GⅢ)の勝ち馬メイショウウスザンナ(牝8歳/栗東・高橋義忠厩舎/JRA通算45戦5勝)、2016年NHKマイルカップ(GⅠ)などの勝ち馬メジャーエンブレム(牝4歳/美浦・田村康仁厩舎/JRA通算7戦5勝)、2015年天皇賞(秋)(GⅠ)などの勝ち馬ラブリーデイ(牡7歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算31戦9勝・海外2戦0勝)は、1月4日(水)付で競走馬登録を抹消されました。アムールブリエは北海道新冠町のノースヒルズ、メイショウウスザンナは北海道浦河町の赤田牧場、メジャーエンブレムは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となり、マーティンボロはフランス、ラブリーデイは北海道日高町のブリーダーズスタリオンステーションで種牡馬となる予定です。

### ●2016年度のマスコミ各賞が決定

2016年度のマスコミ各賞が発表されました。「東京競馬記者クラブ賞」は戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)、「関西競馬記者クラブ賞」はキタサンブラック(牡・受賞時4歳/栗東・清水久詞厩舎)、「関西テレビ放送賞」はクリストフルメール騎手(栗東・フリー)が受賞。新人騎手では「中央競馬関西放送記者クラブ賞」は坂井瑠星騎手(栗東・矢作芳人厩舎)、「民放競馬記者クラブ賞」は木幡巧也騎手(美浦・牧光二厩舎)、同「特別賞」は藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)が受賞しています。

### ●武豊騎手と藤田菜七子騎手がマカオでの騎手招待競走に参加

1月21日(土)、マカオのタイパ競馬場で開催される「マカオ国際男女混合ジョッキーズチャレンジ」に、武豊騎手(栗東・フリー)と藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)がJRA代表として参加することとなりました。同競走には現地騎手と招待騎手の計12名(男女各6名)が参加。抽選によって男女1名ずつのチームを選出し、3戦の合計ポイントでチームとしての順位を競い合います。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ホープフルSに挑んだ川崎のコスマスは9着

ホープフルS(GⅡ、12月25日、中山)には、コスマス(川崎)がJRA指定競走勝馬の資格で出走、4番人気に推されましたが、中団のまま見せ場なく9着に敗れています。

### ●東京2歳優駿牝馬はピンクドッグウッド【各地の主要2歳重賞】

東京2歳優駿牝馬(12月31日、大井、1600m、牝馬)は、3番手から3コーナー過ぎに先頭に立った6番人気の愛知からの遠征馬ピンクドッグウッド(父サウスヴィグラス)が、1番人気のアップトゥユーを3馬身引き離し、北海道在籍時のフルールCに次ぐ2度目の重賞制覇。金の鞍賞(12月25日、高知、1400m)は、黒潮ジュニアチャンピオンシップの覇者フリビオン(牡、父フリオーソ)が2番手から4コーナー手前で抜け出し、単勝1.1倍の圧倒的支持に応えています。ライデンリーダー記念(12月30日、笠松、1600m、牝馬)は、中団から向正面で一気に2番手まで進出した2番人気の北海道からの移籍馬イスタン(父ヴィクトワールビサ)が、直線入口で先頭に立ってそのまま押し切りました。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●2016年の北米競馬～タピットが3年連続の首位種牡馬に

昨年の北米チャンピオンサイヤーに輝いたのはタピット(2001年生まれ、父プルピット)でした。これで3年連続3度目の戴冠。ベルモントSを制したクリエイターⅡ(今春から日本で種牡馬入り)、メトロポリタンHを圧勝したフロステッドなど5頭が北米でG1に優勝。収得賞金1924万5888ドル(約22億5000万円)は昨年の自身の記録を塗り替えるレコードとなりました。次いで2位は、G1ブリークネスSの勝ち馬エグザジャレイターを送ったカーリン(2004年生まれ、父スマートストライク)。以下、アンクルモー、キャンディライド、キトウンズジョイの順。2歳はイントゥミスチーフ(2005年生まれ、父ハーランズホリデー)がトップでした。騎手は、ベネズエラ出身のJ.カステリャーノ騎手(39歳)が4年連続4度目の首位。キャスリンソフィアで制したケンタッキークイーンを含め9つのG1勝ちを収め、2682万7966ドル(約31億4000万円)を収得しました。調教師は、故R.フランケル調教師のアシスタントだったC.ブラウン調教師(38歳)が初タイトル。蹄葉炎を患ったレディイーライを復活に導いて制したフラワーボウルSなど12のG1に優勝。収得賞金は2313万5084ドル(約27億円)でした。